

令和7年度 地域ケア・地域看護推進委員会 活動報告

■委員名	委員長：長田瑞穂 副委員長：池内雅子 委員：森山 恵・金谷美恵子・岡島恵子・茨木ゆかり・川井正子・成定啓子 尾崎淳子・稲岡由美子・村田直子・大迫しのぶ
■開催回数	5回
■活動目標	1. 各支部の組織間ネットワークの現状や課題を把握し、参考になる取り組みに関して各支部へ情報提供する。 2. 「看看リレー」を行い、自分の領域以外の看護についての理解を深め、広く会員に広報する。 3. 各領域の看護職の相互理解に向けた取り組みを検討する。
■活動内容	自部署以外の領域の看護を理解することを目的として「看看連携」を推進する。 1. 各領域の看護職の相互理解に向けた取り組みを推進する。 1) 看護ひょうごの紙面を活用して、「看看連携」の場面をリレー形式で下記テーマを紹介し会員の関心・理解を促す。 春 号：本委員会紹介 夏 号：人材育成に関する連携 秋 号：災害時の連携 新春号：ケアにおける連携 2) 地域における他領域の看護の役割および連携に関する課題を理解し、看護管理者のネットワークづくりと看看連携推進を目的に、研修会を企画、開催する。 テーマ：つなぐ看護をアップデート 日 時：令和7年11月11日 参加人数：45名（うちオンライン11名） 講 師：高知県立大学 教授 久保田聡美 氏 内 容：講義・4つの機能別看護現場からの報告・グループワーク 2. 各支部での看看連携ネットワークの状況を明確化する。 1) 支部ごとの活動状況を随時追加修正し、看看連携ネットワークの現状を理解する資料として共有した。 2) 上記研修会（11/11）や看看連携リレーにおいて、各支部の連携ネットワークの取組を共有した。 3) ネットワークに対する他領域の看護職の認識や看護職のネットワーク構築に対する課題を抽出し、看看連携ネットワークの課題を検討し、次の委員会（看護職ネットワーク推進委員会）に引き継ぐ。
■活動の評価	・11/11研修会開催 参加人数43名（会場32名 オンライン11名） - アンケートでは、グループワークによる他施設とのネットワークの重要性に関する記載が多かった。 ・看護ひょうごへの看看連携リレーの掲載により、地域ごとの看看連携に対する一部を可視化できた。研修会の開催は看護職間における各領域への理解を深める機会となった。 ・看護職のネットワーク構築および人材育成等について、支部や地域ごとの現状を共有した。施設や地域ごと、マンパワー不足の理由からも差があり、取り組みに際して多岐にわたる課題があがった。

■今後の課題	各看護領域の相互理解において、各領域の立場・役割等に対する相互理解および対象となる課題、テーマを明確化したネットワークの推進および評価サイクルの構築が課題である。
■看護協会への 提言・要望	地域の看看連携における看護職のネットワーク推進のしくみづくり